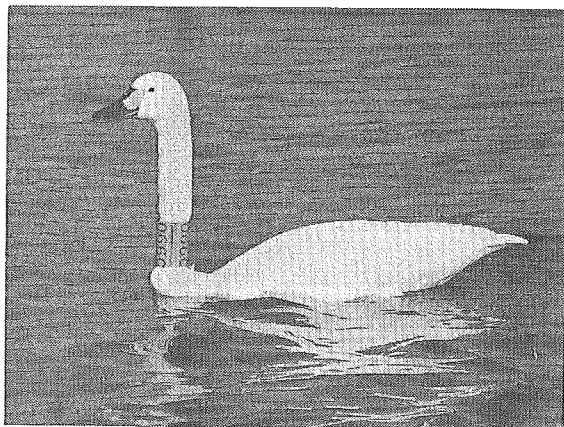


## 諏訪湖にはじめて標識鳥が飛来した日

両 角 保 雄

1989年 3月10日(金) 天候快晴

風殆どなく湖面穏やかで気温が下がり寒い。朝日はハケ岳連峰稜線を北側に外れて昇るようになった。午前8時00分、7羽は河口えさ(餌)場浅瀬に移動して来るのを待ち受けする。以前に飛来した3羽は慣れていて、低い声で鳴きながらえさに接近して採じ(餌)を始める。今朝飛来した成鳥4羽は警戒気味にしばらく様子を見ている。成鳥4羽の中に066 C【写真】の標識鳥在り、流れを行くえさを拾い始め採じするようになる。



午前8時30分、投網漁船河口の近くを横断、このためハクチョウ、カモは南へ移動する。カモはすぐUターンして来るも、ハクチョウは10時頃に戻って来た。林俊夫さん、代田さんが観察に来る。

午前10時00分、長野県豊科町犀川のアルプス白鳥の会の上島順氏に電話連絡する。3月9日午後7時頃まで残っていた066 Cを含む4羽が北帰行したものとされるとの返事であるが、進路を変え南下諏訪湖に飛来したと思われる。

午後12時30分、沖へ移動しては戻る、この動作を繰返す。マイカーのドアの開閉の音に驚いて飛び立ち、戻る等落ち着きがない。浅瀬に給じするも余り食べない。

3月11日(土) 天気晴

午後6時07分、河口から、会員の花岡、阿部、代田、岩村氏始め一般市民の見守る中東赤砂崎ホテル上空を通過して、左右に旋回を繰返し高度を上げて、下諏訪、諏訪の上空を舞い続け進路を北にとり和田峠方向稜線上空の雲の中に消える。

午後7時00分、再び、上島順氏に連絡する。3羽は犀川上空を通過し北へ、066 Cを含む4羽は犀川ダム湖で小休止、その後北の空へ渡去したとのことである。

3月12日(日) 天候晴

新潟県瓢湖の吉川繁男氏に連絡、066 Cを含む4羽は瓢湖に着水、休む間もなく北へ飛び去った模様である。

---

☎394 長野県岡谷市南宮東10019 諏訪湖ハイソ内(諏訪湖白鳥の会)

「066 C」は通称あずみと呼ばれ、1981年3月3日、猪苗代湖で標識され、例年はウトナイ湖→猪苗代湖→クッチャロ湖までの移動経路をとるが本年は1月1日～2日木崎湖、3日犀川、3月3日犀川、4日瓢湖、8～9日犀川、その後諏訪湖に飛来したものである。

【写真撮影 諏訪湖白鳥の会 代田きぬ氏】

#### 引 用 文 献

- (1) 日本の白鳥 №14
- (2) 上島 順：066 Cの足どり